

平成27年度 事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

平成27年度の日本経済は、金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により、雇用・所得環境が改善し、原油価格の低下等により交易条件が改善する中で、緩やかな回復基調が続いてきました。しかし、年度前半には中国を始めとする新興国経済の景気減速の影響等もあり、輸出が弱含み、個人消費及び民間設備投資の回復に遅れがみられました。政府は、「希望を生み出す強い経済」等の実現に向け、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」を取りまとめましたが、残念ながら瓦業界の景気上昇には影響がないように感じられます。屋根工事業界は、いまだに厳しい環境下におかれているのが現状です。

そのような中、新たな事業として、全瓦連加盟事業所が、良好に業務を維持・継続していくために必要な経営力の強化を主眼に、「経営力強化プロジェクト事業」＝「チャレンジYANEYAさん」セミナーを全国8ブロックで開催いたしました。内容は「全瓦連理事よる瓦業界の現況」から始まり、「石井治郎プロジェクトリーダーによる成功例」「地域選定講師による成功例」「弁護士による契約書・保証書」の4部構成で行われました。全国の受講事業所数は739事業所、受講者数は888名でした。

「全瓦連技能グランプリ2016 京都大会」が3月19日20日京都市・京都パルスプラザで行われました。約1,300名の見学者を集め、13名の選手が「片流れ屋根の降棟・腰葺き想定 谷袖瓦納め」の課題に挑みました。

主な事業報告

(1) 【指導委員会】

1. 全瓦連主催ガイドライン講習会を開催した。
2. 災害対策マニュアル作成への取組みを行った。
3. 会員増強のための具体策として「チャレンジYANEYAさん」を推進した。
4. 景観保全事業を伴う陳情活動への取組みを行った。

(2) 【技術委員会】

1. 「瓦屋根標準施工要領書（JKY-2014）の活用を促進するための調査を行った。
2. 「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」での施工による人工数を計算するための積算エクセルシートの配布を行った。
3. 各地区の屋根工事の施工方法の調査研究を行った。

(3) 【安全対策委員会】

1. 安全標語カレンダー・ステッカーの作成・販売を行った。
2. 各種保険の加入促進(加入率アップ)と事故率の低減の啓蒙活動を行った。
3. 防災訓練を2ブロックで実施した。

(4) 【PR委員会】

1. PR大賞の募集選定を行った。
2. 「J形瓦の施工技術」をユネスコ無形文化遺産登録へ行うための協議会発足準備を行った。
3. PRグッズとして新型鬼面うちわ・のぼり・ステッカー・リールレットの販売を行った。